

The Graph Model for Conflict Resolution: Past, Present, and Future

(使用言語: 英語)

日時: 2014年12月2日(火)14:00~15:00 (受付13:50~)

会場: 東京工業大学大岡山キャンパス
西9号館2階コラボレーションルーム
(東急目黒線・大井町線「大岡山」駅 徒歩3分)

主催: 合意形成学国際プログラム (IPCOB)

参加費: 無料



講演者: Dr. D. Marc Kilgour
カナダ・ウィルフリッド・ローリエ大学
理学部数学科・教授

D. Marc Kilgour is Professor of Mathematics at Wilfrid Laurier University, Research Director: Conflict Analysis for the Laurier Centre for Military Strategic and Disarmament Studies, and Adjunct Professor of Systems Design Engineering at University of Waterloo.

講演概要:

コンフリクト分析とは、戦略的な紛争、あるいは複数の関係者や複数の目的を持つ意思決定問題をモデル化し、分析するための原理や技法の集合体である。

ゲーム理論がベースとなる技法はどれも関係者は目的を持った人たちであるという原則の上に成り立っている。その中でも、Graph Model for Conflict Resolution (GMCR)は、モデルのシンプルさと柔軟性の高さ、さらにはその分析範囲が広いことで際立っている。本講演では、1987年に最初にGMCRが発表されてからの流れ、最新の研究、そしてGMCRをベースとした次世代の意思決定について紹介する。

＜お申込み＞

参加希望の方は、Eメールの本文にお名前、ご所属(肩書き)、メールアドレスをお書きの上、
ipcob.events@valdes.titech.ac.jp 宛にお送りください。

＜お問合せ＞

ipcob.events@valdes.titech.ac.jp
合意形成学国際プログラム事務局 猪原(いのはら)、勢川(せがわ)

ウェブサイト: www.ipcob.org